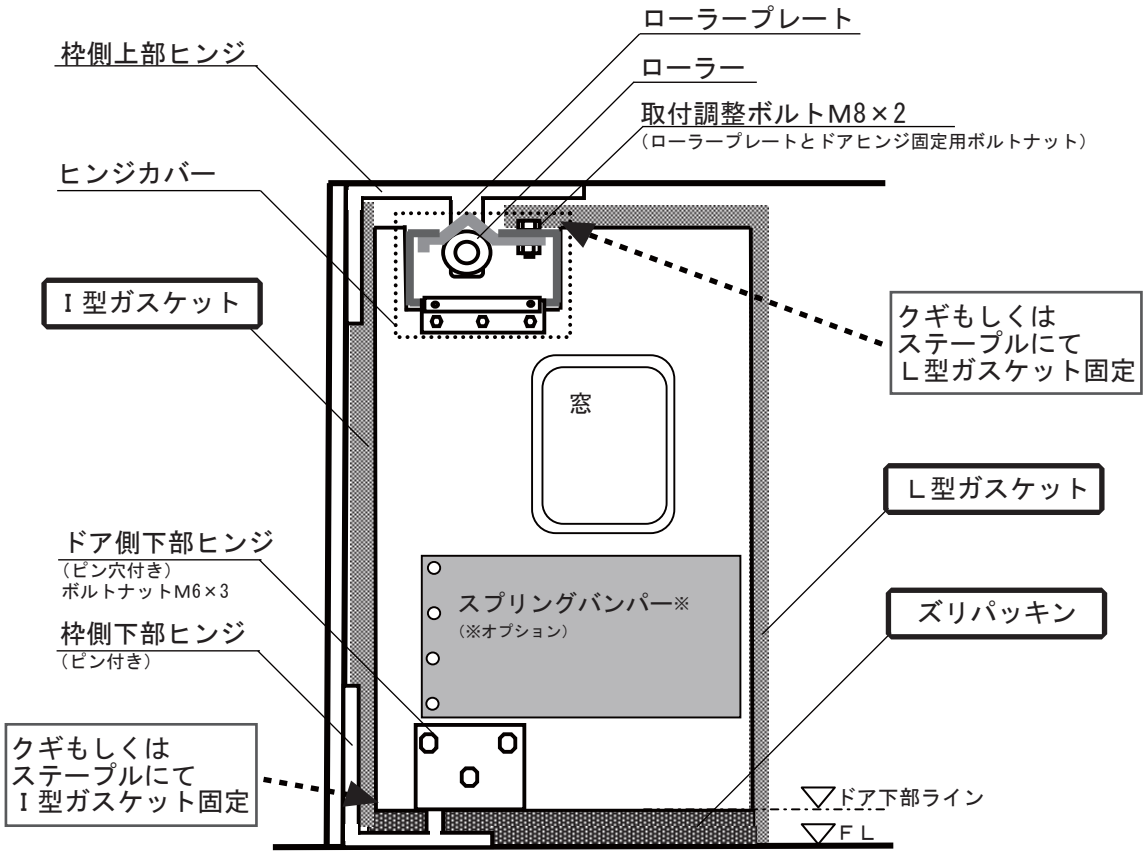
スイングドア　ガスケット交換手順書

該当機種 ： SCG-1, SCG-3, FCG-1, FCG-3

必要工具

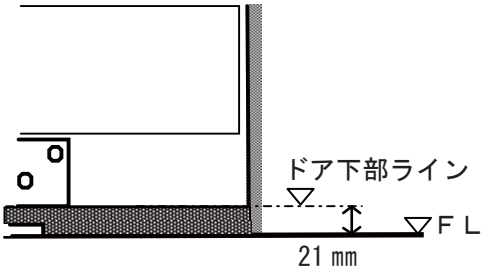
部材名称	個数	部材名称	個数
ドライバ（＋－）	数本	シリコンスプレー	1
スパナ（13mm）	2	ラジオペンチ	1
スパナ（10mm）	2	インパクトドライバ	1
スクレーパー（金属ヘラ）	1	バール	1
ハサミ	1	ハンマー等	1

各部名称



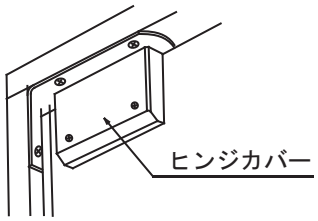
交換準備

● ドアを取り外す前に、ＦＬからドア下部ラインまでの寸法を計測してください。（標準：21 mm）

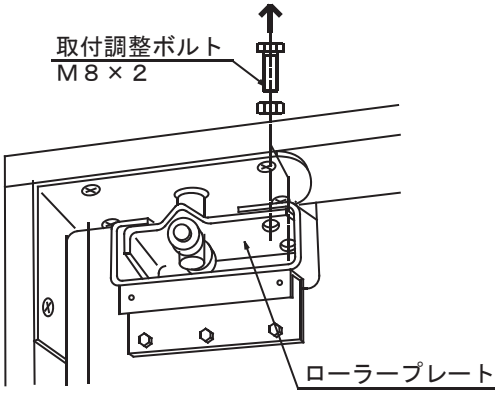


ガスケット・ズリパッキン取外方法

①ドアヒンジカバーをドア表裏２枚を取り外す



②ローラープレートと取付調整ボルトＭ８　２本を13㎜ラチェットもしくはスパナを使用し、取り外す

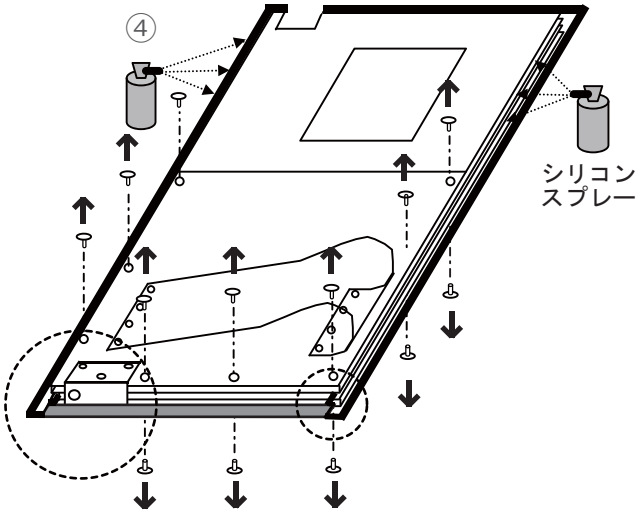


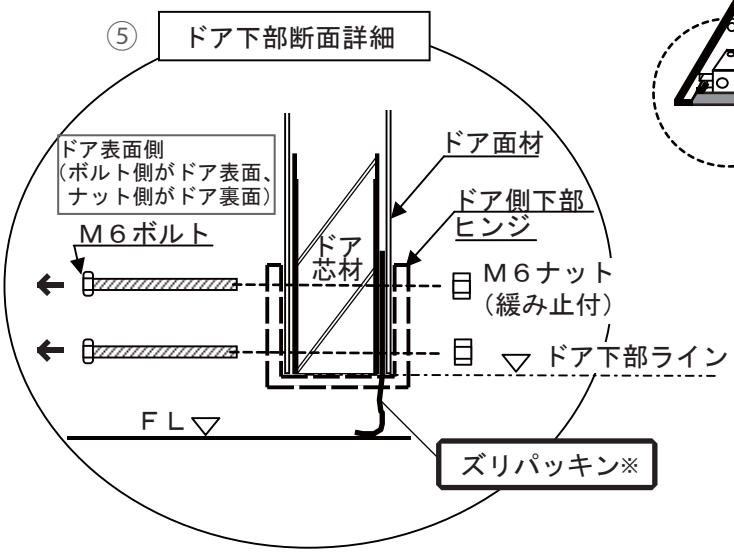
③ドアを持ち上げて上部をローラープレートから外し、ドアを枠側下部ヒンジより抜く

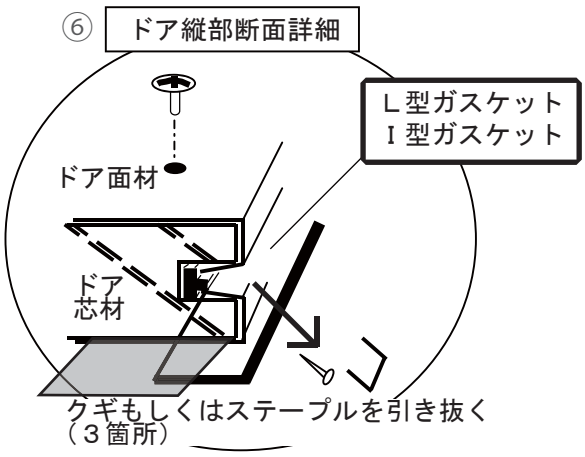
④ガスケット根元全周にシリコンスプレーを塗付する

⑤ドア周囲のビス、ドア側下部ヒンジのＭ６ボルト３本を緩める

⑥クギもしくはステープルをラジオペンチにて３箇所引き抜く（無い場合もある）





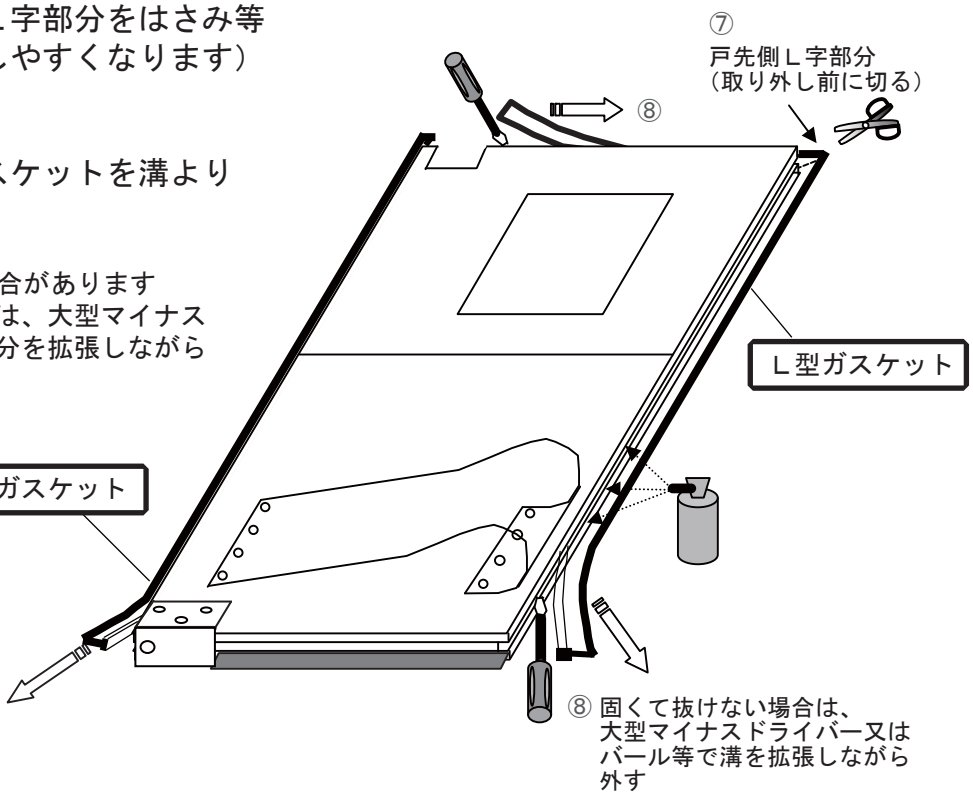


※ズリパッキンはドア面材とドア芯材の間に挟み込んで取り付けられています。
ドア下部ラインより外に出ているズリパッキンの長さは標準で約30㎜、ドア裏面側（上図参照）に取り付けが標準となります。

⑦Ｌ型ガスケットの戸先側Ｌ字部分をはさみ等で切る（ガスケットが外しやすくなります）

⑧Ｉ型ガスケット・Ｌ型ガスケットを溝より引き抜く

●横にスライドさせて抜ける場合があります
●固くてスライドできない場合は、大型マイナスドライバーやバール等で溝部分を拡張しながら外してください

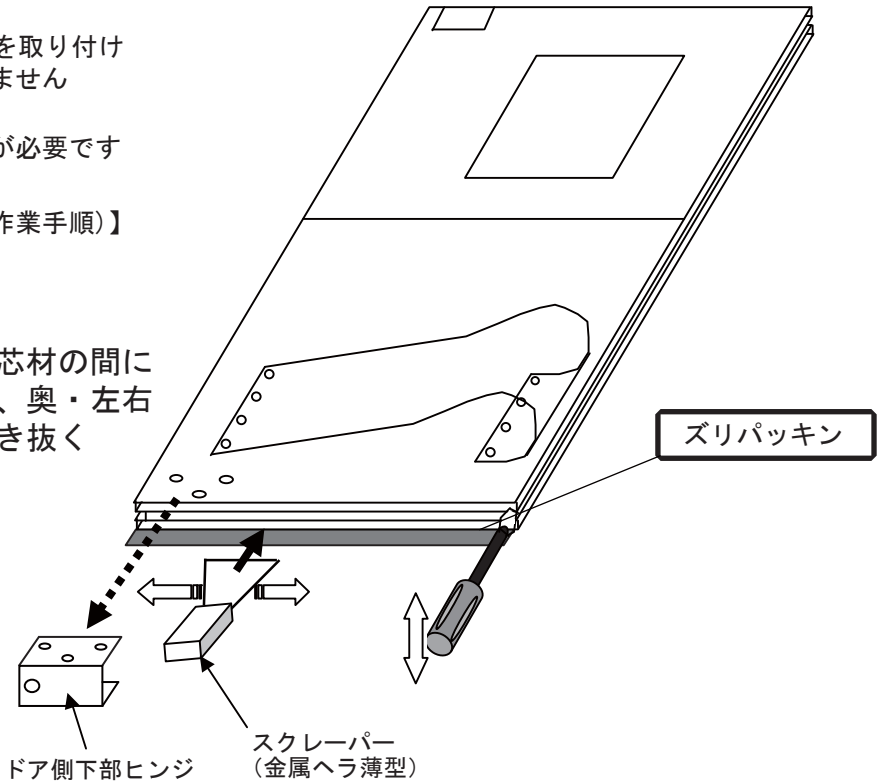


⑨ドア側下部ヒンジを外す

●アルミフラットバーにてズリパッキンを取り付けを選択した場合、取り外す必要はありません

※外観が違ってしまう為、客先事前確認が必要です
→ 参照
Ｐ．６【ズリパッキン取付方法（参考作業手順）】

⑩ズリパッキンとドア面材及びドア芯材の間にスクレーパー（金属ヘラ）を差込み、奥・左右にクリアランスを確保しながら引き抜く

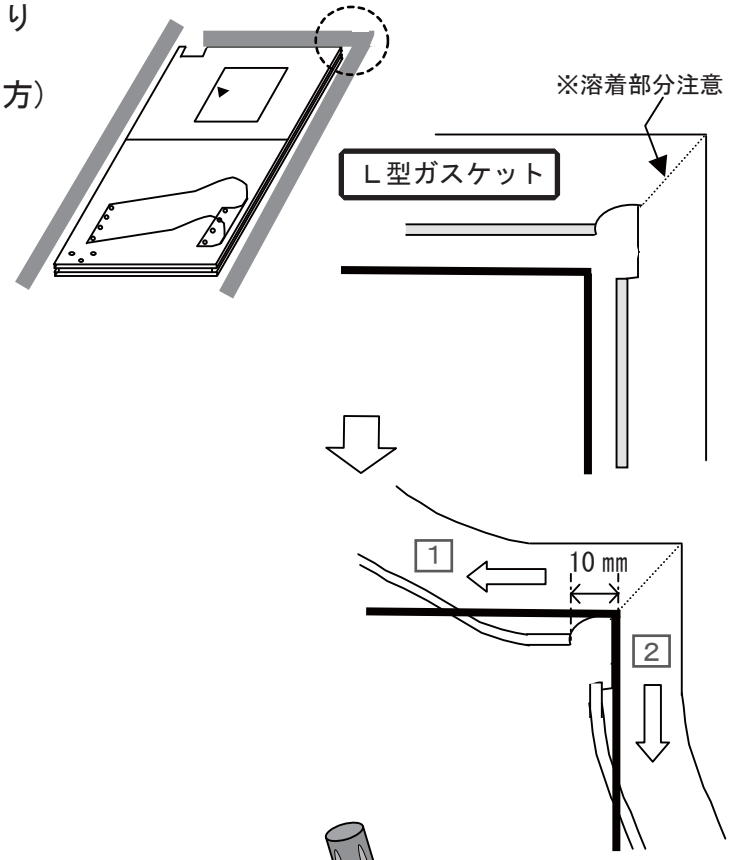


ガスケット取付方法

①Ｌ型ガスケットを戸先側上部のＬ字部分より
ドア溝に差し込み、
1ドア上部（水平方向）→ 2ドア縦部（垂直方）
の順に取り付ける。

●溝に差し込み後は位置調整は不可能ですので、
右図10㎜の位置に切り欠き部分がくるように
取り付けてください。

※Ｌ型ガスケットのＬ字部分の溶着が弱い
ので、過度に引っ張らないでください。
溶着が剥がれる恐れがあります。
溶着部分が剥がれると復旧不可です。

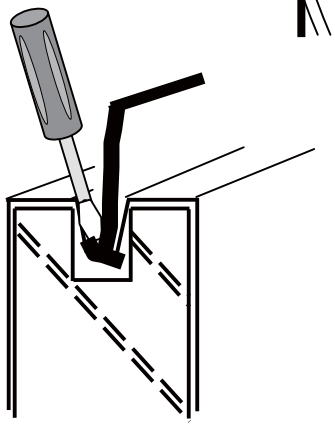


●ガスケットは、右図のように押し込みながら取り
付けてください。過度に押し込むとガスケット根元
が切れてしまいますので、力加減に注意して押し込
んでください。

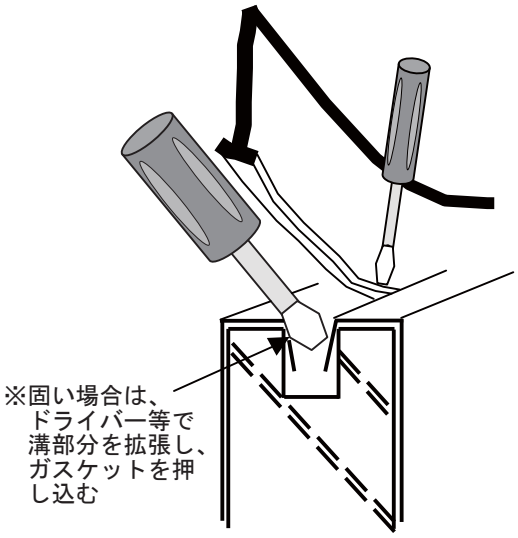
●取り付ける前にシリコンスプレーを吹き付けると
取り付けが楽になります

●取り付け時、固い場合はドライバー等で溝部分を拡
張しながら、もう1本のドライバー等でガスケット
を押込んでください。

●オプションのスプリングバンパーやその他バンパー
の固定ビスやボルトなどを緩めると、ガスケットの
挿入が容易になる場合もあります。適宜、行ってく
ださい。

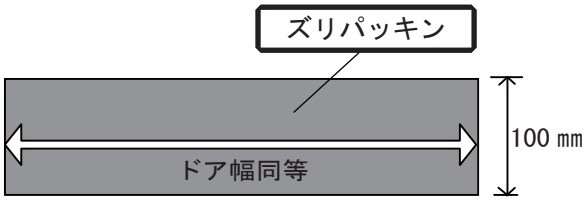


②Ｉ型ガスケットをドア上部もしくは下部のど
ちらから押し込み、①のＬ型ガスケット同様
にドアに取り付ける



ズリパッキン取付方法

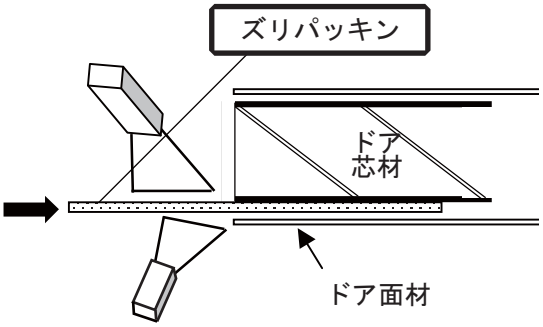
①ズリパッキン（Ｈ＝100㎜）をドア幅同等の長さに切る



②ズリパッキンを面材とドア芯材の間にスクレーパー（金属ヘラ）で挟み込みながら挿入する

③ズリパッキンをＦＬから下部までの距離+10㎜程度の長さになるように挿入する

●短い場合、ＦＬとの間に隙間が発生します
●ドア側下部ヒンジ取付場所は、ドア下部に沿ってヒンジ幅と同等幅分のみカッターにて切り込み加工してください



④Ｉ型ガスケット・Ｌ型ガスケット下部をズリパッキンに揃えてハサミで切る

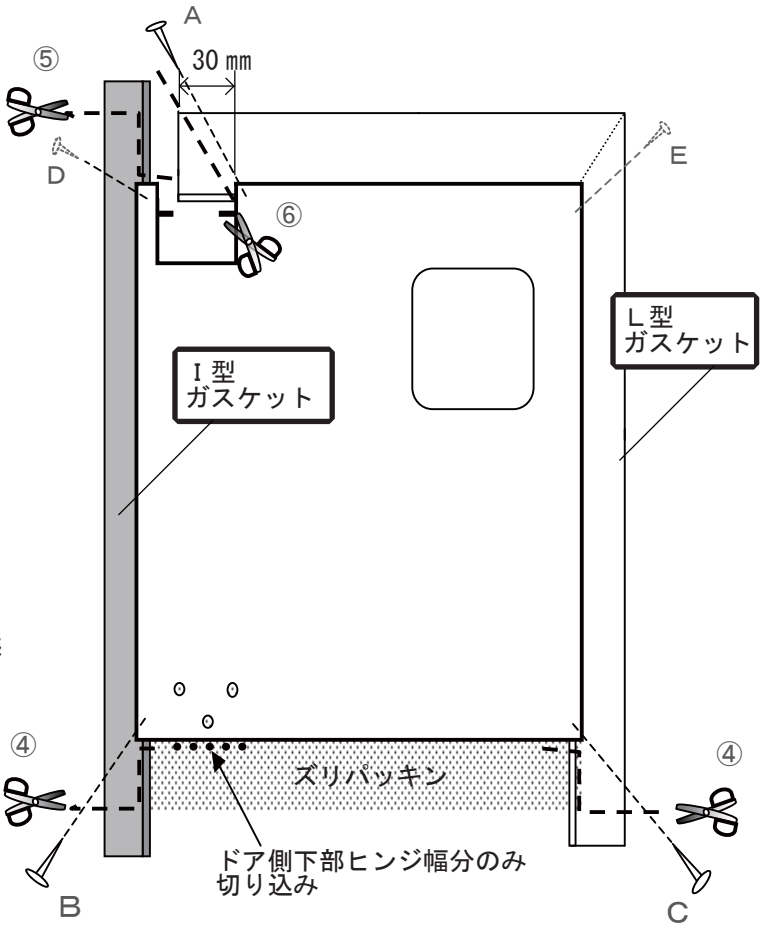
⑤Ｉ型ガスケット上部を、Ｌ型ガスケットに合わせてハサミで切る

⑥Ｌ型ガスケット上部を、上部ヒンジ取り付け部分より、上端部約30㎜の位置に斜めに切る

⑦ガスケットの根元に３箇所（右図ＡＢＣ）にずれ止めのクギを打つ

●簡単にガスケットがずれる等、ガスケットの状態により適宜クギを増やしてください。

※ビスＤ：Ｉ型ガスケットが下方向にずれる場合、追加してください。
※ビスＥ：Ｌ型ガスケットが下方向にずれる場合、追加してください。



⑧Ｐ．２【ガスケット・ズリパッキン取外方法】

⑤→④→③→②→①

の順に、ドアを取り付ける

ズリパッキン取付方法（参考作業手順）

※ズリパッキンの交換を容易に行いたい場合、ドアの芯材が腐食している場合などは以下の方法で取り付けを行ってください。
※外観形状が変わるため、事前にユーザー様とお打ち合わせ願います。
※アルミフラットバーｔ2×20～30㎜幅、テクスビス4×16等を別途ご用意ください。

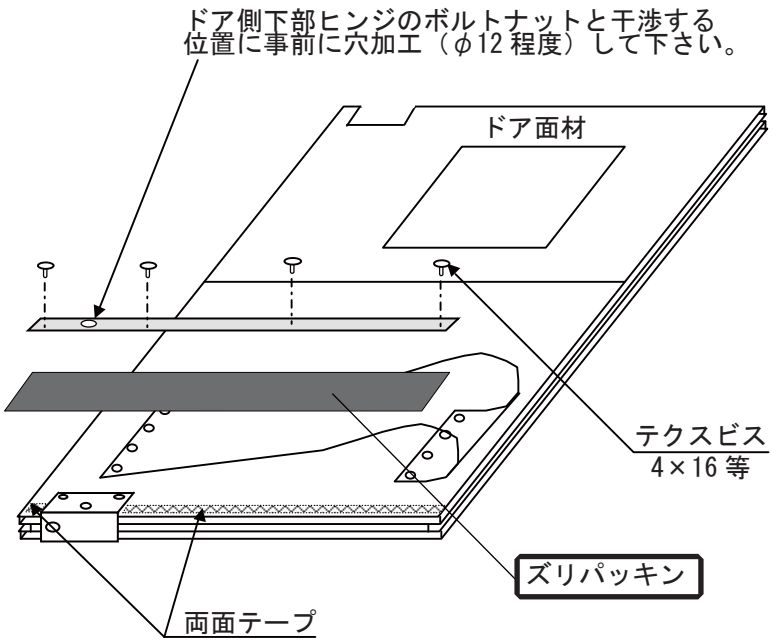
①アルミフラットバーをドア幅同等の長さに切る

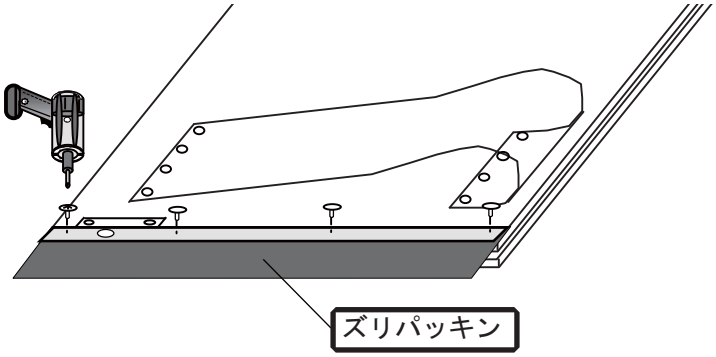
②ドア側下部ヒンジのボルトナットが干渉する位置に事前に穴加工（φ12程度）をする

③ズリパッキンの縦方向の長さを、アルミフラットバー＋ＦＬ～ドア下端の長さ＋10㎜の長さに切る

④ドア下端に両面テープを貼り、ガスケット、アルミフラットバーで押さえる

⑤アルミフラットバーの上からテクスビス等で扉の大きさにあわせて数箇所止める





各商品修理に関するお問い合わせ

株式会社 ユニフロー エンジニアリング部

受付時間
平日　　9：00 ～ 18：00
土曜日　9：00 ～ 17：00

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。
東日本フリーダイヤル　0120-504-226
西日本フリーダイヤル　0120-590-226

株式会社 ユニフロー

本社　〒141-0031　東京都品川区西五反田 2-30-4
TEL　（03）5719-6700
FAX　（03）5719-6699
http://www.uniflow.co.jp

SWガ施第１版０９０９